

社会福祉法人基督教児童福祉会愛隣園
2022年度 事業報告書

2022年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。

- (1) 2022年度も新型コロナウイルスの感染防止を図り、法人組織の強化と経営の透明性を図り、地域と利用者のニーズに対応した法人運営を効率的・効果的に行いました。
苦情解決委員会の外部起用による中立な第三者委員を活用し、利用者からの苦情及びニーズを書面での報告により適正に把握することに努め、必要に応じ面談し苦情解決に向けて取り組みました。
- (2) 当期の事業運営につきましては、児童福祉事業は児童養護施設愛隣園（定員28名）及び、地域小規模児童養護施設の男子寮2ヶ所と女子寮（各定員6名）の運営を行いました。
2022年度は、地域小規模児童養護施設の5月開園に向け、空きホームで一月前から対象児童の生活拠点を移し、配属する職員と仲間意識や協調性を育み、小規模施設への移行運営へ取り組む事が出来ました。また、将来に向けた新規事業の資金作りを行い、施設経営の健全化を図ることが出来ました。
県補助事業を継続し、被虐待児等地域療育支援・連携体制構築補助事業（こころサポート）で担当職員2名（療育支援コーディネーター、心理担当）を配置し、要保護児童の療育支援と里親への支援を行いました。
県補助金を受けて、また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金を活用して感染拡大防止を図り、社会的養護従事者処遇改善事業費補助金を受け、職員の賃金の改善を効果的に図ることが出来ました。
- (3) 障害福祉サービス事業においてはワークセンター愛の園の定員40名、グループホーム男子寮と女子寮の合計定員9名の運営を行いました。2022年度より相談支援事業所じょいまーの事業について、地域からの要望により障害児と一般の相談支援事業を実施し、積極的に福祉サービスを提供することが出来ました。今後も地域と利用者のニーズに沿った事業運営に取り組んでいきます。
県補助金を受けて、福祉・介護職員処遇改善臨時特別交付金により、職員の処遇改善（賃金改善）を効果的に図ることが出来ました。
2022年度においても、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、継続して事業運営を行い利用者支援に取り組むことが出来ました。
- (4) 今期の総合的な収益（経常増減差額）は43,709,621円の増収、財産状況は30,626,554円の増額で登記する純資産の合計額は35,826,619円の増額で1,262,341,857円となり、事業の継続性と財務状態は安定し順調に推移しました。詳細については会計報告で報告致します。
- (5) 2022年度の社会福祉充実残額は発生していない為、社会福祉充実計画は作成してません。

1. 事業運営

事業種別	2022年4月～2023年3月
第1種社会福祉事業	①児童養護施設愛隣園（定員28名） ②地域小規模児童養護施設こひつじの家（定員6名） ③地域小規模児童養護施設ともしびの家（定員6名） ④地域小規模児童養護施設あかりの家（定員6名）
第2種社会福祉事業	①障害福祉サービス事業ワークセンター愛の園（定員40名） ②障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム愛さ（定員5名） ③障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム美さ（定員4名） ④相談支援事業じょいまー

2. 役員・評議員の構成《2023年3月31日現在》

(1) 役員：定数理事6名以上8名以内、監事2名（理事8名、監事2名）現員10名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席（書面）
理事長	上地 武	地域福祉実情者	2022年 6月10日	3（1回）
理事	根川 清義	地域代表者	1991年10月29日	4（1回）
理事	高里 鈴代	地域福祉実情者	2005年10月29日	4（1回）
理事	島 しづ子	地域福祉実情者	2021年6月11日	4（1回）
理事	仲地 みどり	福祉事業経営識見者	2021年6月11日	4（1回）
理事	金城 正典	地域福祉実情者	2017年6月20日	4（1回）
業務執行理事	仲宗根 岩雄	愛の園施設長	2006年 4月 1日	4（1回）
理事	上江洲 肇	愛隣園施設長	2019年 6月14日	4（1回）
監事	宮里 善博	財務資格者	2017年6月20日	2（1回）
監事	島袋 裕美	福祉事業経営識見者	2016年4月1日	4（1回）

(2) 評議員：定数7名以上10名以内（評議員10名）現員10名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席（書面）
評議員	喜舎場敏子	地域代表者	2005年10月29日	0（0回）
評議員	望月 智	教会関係者	2007年10月29日	1（0回）
評議員	又吉京子	福祉経験者	2009年10月29日	0（0回）
評議員	花城静子	福祉経験者	2010年10月22日	1（0回）
評議員	保良昌徳	学識経験者	2011年10月29日	1（0回）
評議員	比嘉美恵子	福祉経験者	2013年10月29日	1（0回）
評議員	砂川麻世	学識経験者	2015年10月29日	1（0回）
評議員	田場みどり	家族代表	2017年 4月30日	1（0回）
評議員	石川健一	地域代表者	2017年 4月30日	1（0回）
評議員	國吉 富貴子	地域代表者	2021年6月11日	0（0回）

(3) 評議員選任・解任委員会（委員5名）現員5名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
委員（監事）	島袋裕美	福祉経験者	2017年2月1日	開催無し
委員（外部）	知花 豊	福祉経験者	2021年6月11日	開催無し
委員（外部）	島村 聡	学識経験者	2021年6月11日	開催無し
委員（職員）	金城幸光	養護課長（愛隣園）	2017年2月1日	開催無し
委員（職員）	桃原 学	支援課長（愛の園）	2017年2月1日	開催無し

(4) 苦情解決委員会（委員6名）

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席（書面）
第三者委員	宮国幸子	福祉経験者	2017年 4月 1日	4（5回）
第三者委員	久高 整	福祉経験者	2019年 4月 1日	4（5回）
苦情解決責任者	仲宗根岩雄	愛の園施設長	2017年 4月 1日	4（5回）
苦情解決責任者	上江洲 肇	愛隣園施設長	2017年 4月 1日	3（5回）
苦情受付担当者	桃原 学	愛の園職員	2017年 4月 1日	0（5回）
苦情受付担当者	金城 幸光	愛隣園職員	2019年 4月 1日	2（5回）

3. 理事会・評議員会及び監事監査及び評議員選任・解任委員会及び外部会計顧問の実施

(1) 理事会の開催

第1回理事会 2022年5月27日（金）	第1号議案	育児・介護休業規程の一部改正の承認	
	第2号議案	2022年度補正予算の承認	
	第3号議案	2021年度事業報告並びに計算書類等の承認	
	第4号議案	理事長辞任に伴う補欠の理事の選任候補者提案	
	第5号議案	定時評議員会の召集	
報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告		
	第2回理事会 2022年6月16日（木）	第1号議案	じょいまーる運営規程の事業追加の承認
		第2号議案	公益通報者保護に関する窓口担当者の承認
第3号議案		理事長選定	
報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告		
	第3回理事会 2022年11月29日（火）	第1号議案	ワークセンター愛の園運営規程の一部改正の承認
		第2号議案	経理規程の一部改正の承認
第3号議案		就業規則の一部改正の承認	
第4号議案		給与規程の一部改正の承認	
第5号議案		2022年度補正予算の承認	
第6号議案		ワークセンター愛の園施設長の定年	
報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告		
	第4回理事会 決議の省略（書面） 2023年2月21日（火）	第1号議案	役員等賠償責任保険契約の承認
第5回理事会 2023年3月17日（金）		第1号議案	就業規則の一部改正の承認
	第2号議案	給与規程の一部改正の承認	
	第3号議案	運営規程の一部改正の承認	
	第4号議案	2022年度補正予算の承認	
	第5号議案	2023年度事業計画の承認	
	第6号議案	2023年度予算の承認	
	第7号議案	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の承認	
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告	

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会 2022年6月10日(金)	報告事項	2021年度事業報告
	第1号議案	2021年度計算書類等の承認
	第2号議案	定款の一部変更の承認
	第3号議案	理事長辞任に伴う理事の選任

(3) 監査の実施

監事名	監査実施日	監査項目
島袋裕美 宮里善博	2022年5月18日 (水)	法人定款第19条の規定に基づき、2021年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況の調査

(4) 評議員選任・解任委員会の開催：無し

(5) 外部会計顧問調査の実施

委託先	訪問月日	チェック項目
EY税理士法人	2022年10月26日 (水)	前年度会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導 2022年4月～2022年10月までの会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導

4. 役員研修の状況

実施年月日	研修名	参加者(役員区分)	研修日数	研修内容
2022年10月24日	沖縄県社会福祉大会	上地 武 (理事長)	1日	講話：10代の若年母親支援について、安心して生活できる社会の構築を学ぶ。表彰：県内社会福祉関係者へ社会福祉への功労及び発展と貢献への表彰式参加

5. 資産(土地・建物)等の状況

(1) 自己所有資産の状況

	所在地	地目、構造及び用途	面積(m ²)	取得	担保提供
	基本財産 (土地)	字与那原2943番地	宅地-施設用地	19182.08	S48.2.1
字与那原2960番地		〃	915.39	S47.8.29	無
字与那原2974番の1		〃	1164.96	S48.2.1	無
字与那原2969番地		〃	689.49	S47.7.25	無
字与那原2959番2		〃	19.10	S58.8.19	無
基本財産 (建物)	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート平屋建-体育館	507.83	S45.3.15	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート3階建-愛の園	817.36	S63.3.31	無
	字与那原2943,2969番	鉄筋コンクリート平屋建-厨房棟	182.51	S55.6.30	無
	字与那原2943番の8	軽量鉄骨平屋建-店舗	24.12	H7.12.1	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート4階建-児童宿舍	2595.40	H13.9.18	無
運用財産 (1)土地 (2)建物	字与那原2943番の7	鉄筋コンクリート平屋建-分別場	70.58	H21.2.17	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート造-苗置場	66.00	S38.7.1	無

(2) 借地等の状況

土地	所在地	地目、構造及び用途	面積(m ²)	契約の有無(相手方)
		字与那原浜田原2998-14	井戸敷地	21.44
建物	非公表	こひつじの家	200	有(神谷光信)
	非公表	ともしびの家	70	有(奥平絹子)
	非公表	あかりの家	106.86	有(玉城恒)
	南風原町字本部434-11	グループホーム愛さ	100	有(浦崎隆子)
	与那原町字東浜86-2	グループホーム美さ	75.14	有(仲里武史)

6. 公益的な地域貢献活動への取組状況

- ① 園庭解放及び電話やメール等により、地域の子育て家庭を対象とした相談支援
- ② 地域住民等へ体育館、グラウンド、マイクロバス等を貸出し、地域福祉及び教育活動を促進
(小中学校クラブ活動、地域のクラブ活動、地域の保育園行事、教会行事等)

- ③ 福祉人材育成活動として、福祉養成学校等の実習生の受入れによる福祉人材の育成
- ④ 児童虐待防止ネットワークへの参画（要保護児童対策地域協議会）
- ⑤ 障害の理解促進の取組みとして地域住民の交流による理解促進（バザー、町内外イベント参加）
- ⑥ 複数法人間連携事業への参画として、連携事業への参画による地域のセーフティーネット構築（学校、警察、民生委員児童委員、町福祉課、町子育て支援課、町障害福祉課、町社協）
- ⑦ 災害時に備え、地域の災害時一時避難場所として指定し、地域住民と連携した防災体制の構築

7. 管理者会議、苦情解決委員会、その他の委員会の開催

(1) 管理者会議の開催

①管理者会議 2022年4月12日（火）	①2022年度監事監査の実施の件 ②2022年度第1回理事会開催の件 ③定時評議員会開催の件 ④2022年度第2回理事会開催の件
②管理者会議 2022年5月13日（金）	①2022年度監事監査の実施の件 ②2022年度第1回理事会開催の件 ③定時評議員会開催の件 ④2022年度第2回理事会開催の件
③管理者会議 2022年6月7日（火）	①定時評議員会開催の件 ②2022年度第2回理事会開催の件
④管理者会議 2022年7月21日（木）	①理事長就任の件 ②アルコールチェック内規の件 ③愛隣園福祉バザーの件
⑤管理者会議 2022年8月18日（木）	①理事長就任の件 ②アルコール探知機の使用義務化の延期の件 ③新型コロナウイルスに関する休業手当等の件 ④沖縄県最低賃金の改正の件 ⑤創立70周年記念事業の件
⑥管理者会議 2022年9月8日（木）	①台風11号襲来に伴う業務停止の件 ②沖縄県最低賃金の改正の件 ③アルコール探知機の使用義務化の内規の件 ④創立70周年記念事業の件
⑦管理者会議 2022年10月13日（木）	①2022年度人事院勧告に関する件 ②2022年度～2023年度理事会及び評議員会等の議案上程案の件 ③人事に関する件 ④クリスマス礼拝・祝会の件 ⑤職員インフルエンザワクチン接種費用の補助の件 ⑥2025年までの改正法一覧の件
⑧管理者会議 2021年11月10日（水）	①2022年度第3回理事会の件 ②2022年度～2023年度理事会及び評議員会等の議案上程案の件 ③人事に関する件 ④クリスマス礼拝・祝会の件 ⑤寄付金支払いに関する件
⑨管理者会議 2022年12月8日（木）	①2022年度第3回理事会の件 ②民法改正に伴う身元保証書の件 ③2022年度第4回理事会の件 ④2022年度～2023年度理事会及び評議員会等の議案上程の件 ⑤人事に関する件 ⑥クリスマス礼拝・祝会の件 ⑦勤続表彰の件
⑩管理者会議 2023年1月12日（木）	①人事に関する件 ②2022年度第4回理事会の件 ③2023年度理事会及び評議員会等の議案上程の件 ④勤続表彰の件 ⑤愛隣園創立70周年記念式典の件

<p>⑪管理者会議 2023年2月9日(木)</p>	<p>①人事に関する件 ②2022年度第4回理事会の件 ③2022年度第5回理事会の件 ④2023年度理事会及び評議員会等の議案上程の件 ⑤勤続表彰の件 ⑥愛隣園創立70周年記念式典の件</p>
<p>⑫管理者会議 2023年3月8日(水)</p>	<p>①人事に関する件 ②2022年度第4回理事会の件 ③2022年度第5回理事会の件 ④2023年度理事会及び評議員会等の議案上程の件 ⑤感謝状贈呈式の件 ⑥辞令交付式の件 ⑦愛隣園創立70周年記念式典の件 ⑧安全運転管理者の件 ⑨障害者雇用率の設定の件</p>

(2) 苦情解決委員会の開催

<p>①苦情解決委員会 2022年10月12日(水)</p>	<p>①2022年4月～10月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(施設の状況報告等)</p>
<p>②苦情解決委員会 2022年11月9日(水)</p>	<p>①2022年10月～11月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(施設の状況報告等)</p>
<p>③苦情解決委員会 2023年2月8日(水)</p>	<p>①2022年11月～2023年2月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(施設の状況報告等)</p>
<p>④苦情解決委員会 2023年3月8日(水)</p>	<p>①2023年2月～3月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(施設の状況報告等)</p>

2022年度児童養護施設 愛隣園 事業実績報告書

1. 「主な取り組み事項」

(1) 職員体制等について

組織力を高め、事業運営を円滑に推進していくため、各ホームに主任を1名配置し、それぞれ所属ホームを統括することを継続しました。

ホーム職員の意見吸い上げ、管理者の方針などを職員に周知していくことがスムーズになっており、全体としても定着しています。

定例の養護課会議や必要に応じて開催する臨時会議を通して、全体会議での協議事項や迅速に対応すべき事柄などについても適切に対応できるよう継続しました。主任がホームの意見をまとめることにより、ホーム運営、児童への支援、チームケアなどが昨年度同様にスムーズに行えるようになっていきます。また、職員配置基準の弾力的運用に伴う採用拡大により、本体5名の担当者にパート職員1名を活用した1ホーム6名体制を整え、夜間の2名体制や個別ケアを継続しました。特に個別対応が必要な児童については、事務所職員による個別対応を行い、より丁寧に児童の発達に合わせた余暇時間の過ごし方を意識して取り組んできました。また、地域の児童デイの活用を行い、発達障害を抱える児童の支援について充実できるよう継続して取り組みました。

また、今年度は将来のケア単位の小規模化、職員の定着率を向上させる目的で2名の非正規職員を正規登用することができました。児童らの支援の連続性、地域分散化の人材確保をするためにも、予算との兼ね合いを勘案しながら、継続して職員の正規登用を検討していきたいと思っております。

去年度から準備を進めてきた新たな地域小規模児童養護施設「あかりの家」の開設のための人材確保も含め、児童指導員2名（非常勤）、保育士（非常勤）2名、夜勤専門員1名の採用により人員を整備し、与那原町内に無事開設することができました。今後も更なる小規模化、地域分散化、多機能化へ向けて、指導員及び保育士の人材確保と人材育成を進めていきたいと思っております。職員採用については、平等且つ適切に対応するため、「職員採用マニュアル」を活用することになっており、非常勤も含め初任者研修を継続しました。従来に係法令、法人理念等に加え「児童養護施設運営ハンドブック」を活用した具体的な支援について初任者研修を実施することにより、施設内暴力の防止や児童とその家族の理解など、人材育成を充実できるよう取り組みを継続しました。また、今年度もコロナ禍にあつて各種研修の中止があり、オンデマンド研修となった九州児童養護施設職員研究大会、沖縄県児童養護

研究大会などに多数の職員が参加することができ学びを深めました。

利用者の権利擁護については、沖縄県版権利擁護ガイドライン「より良い支援の実現に向けて」を活用したオリエンテーションの実施や、令和6年度の児童福祉法改正施行に伴うアドボカシー導入の義務化を踏まえたモデル事業を実施し、アドボカシー制度の意図や目的などの研修を実施しました。

昨年度に社会福祉援助技術実習担当者の研修を一名の職員が受講することができ、社会福祉援助技術実習受け入れの体制を整えてきたので、実質的なプログラム作成を行ってきたので、来年度からは人材育成、人材確保に向けて実習受け入れ体制を整えていきたいと思えます。

卒園した児童のアフターケアや卒園を前にした児童へのリービングケアを行う「自立支援担当職員」の配置により、進学、就職を視野に入れた面談やアンケートなどによる具体的な取り組みが継続できました。貸付制度の活用などもあり、卒園後の状況を把握できることで、卒園後の支援も必要に応じて対応できるようになっています。また、地域の商工会議所と連携し、就労体験などを継続することにより、児童らの社会生活に対するイメージづくりや就労体験を通じた経験が自信につながるケースも見られています。地域の子どもたちを見守るための集まりにも参加し、地域の子どもたちへ向けても各関係機関と連携して取り組める体制づくりや国が示す地域支援を目指していきます。

今年度も苦情解決委員会を月に1回開催することを目標に、第三者委員と苦情受付担当者、苦情解決責任者を交えた話し合いにて利用者の苦情や要望について検討する機会を設けましたが、コロナの影響により開催回数が減少しました。しかし、利用者より出された意見、要望はすべて報告することができ、適切なアドバイスもいただきながら取り組んできました。継続して、第三者委員の利用者の状況把握や具体的な苦情や要望についてアドバイスをいただき、より良い意見の吸い上げ方法の構築を目指して継続して取り組んでいきたいと思えます。

今年度も、見回り簿のチェック箇所の明記で戸締りの確認の強化、児童へのアンケート実施、小集団、個人面談の性教育の実施、心理士による性教育の実施、SV研修の実施、「児童間性暴力“0”へのロードマップモデル事業」（神戸児童間暴力研究会主催）参加による、児童間暴力の予防とアセスメントについてモデル開発の実施などに取り組む、来年度には報告書を作成する予定です。

(2) ホーム体制について

今年度は、「あかりの家」開設に伴い、本体28名定員へ変更の2ホーム

体制としました。1ホーム6名の職員を配置し（内1名は平日の夕方から夜間までのパート）、幼児から高校生までの縦割で1ホーム定員は14名としました。また、担当制を継続することで、児童の個別的な支援の充実に努めるとともに、夕方17時から夜間22時までの時間帯を職員2名体制とし、幼児の入浴、食事、寝かしつけの支援や年少児、高齢児に対しても丁寧に対応できるよう継続しました。夜間2名体制だと、ゆったりと子ども達に関わることができ、問題行動に対する迅速な対応、夜間の見廻り等の対応が継続できています。

担当者だけのローテーション勤務では2名体制を維持することは困難であり、補助員の活用によって体制を維持してきました。しかし、休日等の2名体制を行うには勤務状況が厳しくなり、何かあった場合の代替職員等も含め、継続して体制を整えていく必要がありますが、事務所職員のヘルプでこなしている状況です。また、様々な障害を抱える児童の増加もあり、2名体制でもきめ細かな対応が難しい部分もあるため、個別に愛着を形成するためにもケア単位の小規模化を図ることが大きな課題となっています。しかし、小規模化にも距離の近さや指導的になり過ぎないように配慮が必要であり、職員のバーンアウト、児童同士、職員と児童の相性からくる課題など、丁寧に議論を深めながら取り組む必要性やそれを踏まえながら国が示す「社会的養育推進計画」の策定に伴い、児童への丁寧な支援ができるよう職員の勤務体制も含めた総合的な整備が必要不可欠となっています。それを踏まえ、来年度へ向けて産休代替も含めた4名の保育士、児童指導員（うち一人は3月採用）の採用が決まっています。

国が示す地域支援や更なる小規模化、地域分散化に因應するためにも人材確保、人材育成は大きな課題となっているため、正規登用も含め今後も早期に準備を進めていけるよう取り組んでいきたいと思いをします。

(3) 幼児の集団支援について

今年度も、「幼な子の家」の対象児童がいなかったため、担当する専任担当者を配置しませんでした。しかし、緊急一時保護児童の対応や個別対応の充実に目的に、児童指導員（非常勤）を増員し、一時保護や個別対応ができる体制を継続しました。幼児の集団支援については、地域の一員として児童が育まれるよう、二重措置が困難である現状の改善について継続して声をあげていきます。社会的養育推進計画のもと、幼児は里親家庭に委託される傾向がある中、親の意向や兄弟分離の課題により幼児の打診もあった為、様々なケース受け入れの想定をしながら人員配置などの準備をしていきたいと思いをします。

(4) コロナウイルス対応について

コロナウイルス蔓延防止及び対応について、厚労省、保健所からのマニュアルを参考に、本庁所管課に確認しながら当園でも対応マニュアルを作成しました。また、補助金の活用によりマスク、消毒液を切らさないよう事前に準備を行うことができ、前年度に準備できたりリモート用の機材などの活用で研修なども継続して受講することができました。

緊急事態宣言解除後も、社会状況を鑑み児童らの外出、帰省、面会、外部行事への参加、来客制限などを必要に応じて行い、児童の保護者、職員に対して感染予防の協力をお願いし、蔓延防止に取り組んできました。しかし、児童らの外出制限や親との面会、帰省を制限することでストレスも高まり、児童同士でのトラブルも絶えない状況であることから、去年同様、園児を対象に体育館にて時間制限を設けて解放するなどの措置をとって対応し、児童のストレスが発散できたことは一定の効果を感じました。また、行事や招待は去年度より蔓延状況が緩和されてきたのに伴い、小学生は国の予算による招待で、国立青少年旅行村にてキャンプへ参加でき、中高校生も希望の離島などでキャンプを行うことができました。

また、家族にも社会状況を鑑みながら面会、帰省を制限する協力依頼の文書などを発送し、子どもとの関係性が切れないよう手紙を書いたり、電話連絡の関わりを促したり、様々な工夫と対応を行いました。

感染予防を行うも、今年度も児童、職員に感染者が出たことで、隔離部屋での看病など、隔離対応する職員を限定するなど蔓延防止を行いました。その影響により、職員の会議なども行うことができず、施設全体としては個々の職員の力量やホームのチームで乗り越えてきた部分がありました。

当園は、児童らが生活を営む入所施設であることから、職員に休暇を与えることさえ難しい状況であり、小さな子ども抱える職員の処遇、勤務時間軽減措置などについて大きな課題となっています。コロナ禍にあって、濃厚接触者扱いとなった職員のホテルからの通勤体制なども継続して補助金の活用を行い、職員本人やご家族の不安解消に取り組み、感染者を対応する職員に対しては「特例に関する給与規定細則」に基づき手当を支給しました。福祉施設における職員に対しての慰労金は、児童養護施設は対象外となり、去年度より厚労省からの処遇改善の補助金にて、給与改善手当（施設長を除く）を支給することができました。

2. ケア単位の小規模化・地域分散化について

地域小規模児童養護施設「こひつじの家」（定員6名 男子棟）と「ともしびの家」（定員6名 女子棟）を継続して運営し、今年度は「あかりの家」（男子棟）を新たに開設しました。個別に関われることで個々の児童の状況に合

わせて支援できており、児童らも自分の居場所として概ね順調に推移しています。職員配置を5名とし、ホームを総括する主任を1名ずつ配置しています。

国が推し進めるケア単位の小規模化に伴う当園の「家庭的養護推進計画」を沖縄県、厚労省へ提出してあります。厚労省より新たに「社会的養育推進計画策定」が示され、県でも「社会的養育推進計画策定に係る検討会」がスタートされ、今年度予定であった見直しが、来年度へ変更となっています。支援の小規模化に伴う、職員の確保、勤務体制の軽減、ハード面整備に伴う財源確保はとても大きな課題となっています。特に人員が揃っていても、男子棟、女子棟を担う職員の性別や課題など、より家庭的な雰囲気近づけることができるよう職員で話し合いをはじめています。今年度も、ケア単位の小規模化の具体的な方法、体制について、職員で勉強会を実施しましたが、国の方針として6名定員を4名定員への引き下げた場合の職員4名体制を保証する(配置基準一対一)取り組みが打ち出されており、今後も厚労省の示す方針や県の予算の状況を鑑み、沖縄県全体の調整をしながら、推進計画が推し進められる予定となっています。

3.事業の実施状況

養護目標・・・自主性を育む

《重点努力目標》

- ・褒める場面を増やし、自己肯定感を高める
- ・日々の生活の中で感謝と思いやりの気持ちを育てる。
- ・自ら考え行動できるような言葉かけを行う。
(指示的な言葉かけだけにならない)
- ・気持ち良いあいさつを通して社会性を育む。

①各項目の養護反省 (全体)

(1) 基本的な生活習慣

就寝起床時間や朝の当番・お手伝い、テレビの視聴時間などについて子どもたちと話し合いながら、基本時間を設定し、各ホームや児童集会などで確認し合い実施しました。

幼児や年少児に対しては、いつでも気持ちよい就寝、起床ができるように絵本の読み聞かせや起床の声かけを丁寧に行い、早寝早起きを習慣づけるように支援しました。また、洗面、食事等の支援も児童の発達状況に合わせて行い、部屋の清掃等きれいな生活空間を提供する中で、気持ちの良い生活体験を通して自立を支援しました。特に高齢児については、できる限り個室が利用できる

よう配慮し、個々の課題に丁寧に取り組めるよう継続して支援を行いました。

洗たくや自室の清掃等をそれぞれの発達段階に応じて指導し、労作や日常のお手伝いの中で勤労意欲を向上させるように努めたところ、楽しく労作活動等ができることが定着しています。

金銭管理については、小遣い帳をできるだけ自分で記帳させ、いつでも閲覧できるように配慮し、自分で金銭管理ができるようにしました。その結果、お金の使い方を工夫する児童も多くなり、小遣いを貯めて欲しい物を購入するなど、目標に向かって貯金できる児童も増えてきました。また、高校生が社会体験も含めたアルバイトをし、卒園後の準備金として貯蓄することができました。中には、内緒でアルバイトして豪遊する児童もおり、将来のことを話し合いながら、小遣いの使い方や貯蓄について話し合いながら支援しています。アルバイトによる社会体験により、対人関係において社会性が乏しい児童も成長が見られ、課題とされるコミュニケーション能力が向上することができました。また、携帯電話の所持及び使い方や帰宅時間などルールに関する要望を出す児童も出ているので、ルールについて職員で話し合いをしています。

虐待などで心に傷を抱え、自己肯定感が低い児童が多い中、併せて知的障害や発達障害を抱える児童が増加しています。しかし、障害や虐待によるトラウマの特性上、日常生活や学校生活で注意を受けることが多く、児童らの自己肯定感を高め、児童本人の生きる力や様々な意欲に繋がるような支援をより充実させる課題に対し、それぞれの児童の得意な分野において部活動やクラブ活動を奨励し、個別に作業時間や創作活動を設定して認められ体験を増やしてきました。また、個別支援を行い、障害を抱える児童の支援の充実に取り組み、児童デイの活用などにより個別に発達支援ができるようになりました。継続して取り組んでいきたいと思えます。

また、どのような職員体制、生活単位がそのような児童にとって生活の質と支援の向上に繋がるのか、継続して考えていきたいと思えます。

(2) 余暇活動

コロナの影響もあり、規模の縮小や時期の変更を行い、年齢、発達に応じた横割のプログラムを実施しました。(夏季キャンプ等)。今年度も去年度の経験を生かし子どもたちから色々なアイデアが出た中で行事を継続することができたことはとても良かったと思えます。また、コロナ禍によって中止となった行事も多い中、子どもじんぶん学校や渡嘉敷島キャンプ招待などに参加できたことは、子どもたちにとって貴重な体験をする機会となりました。今年度もマスクや遊具のご寄贈など、子どもたちの余暇活動を充実できるようなご寄贈が多く、社会の皆様のお気持ちに救われた一年でした。

学校の部活動やクラブ活動及び地域のサークル活動(サッカー、フットサル

クラブ等)への参加を奨励しているところ、続けて頑張る児童の自信や自己肯定感の向上に繋がっています。また、職員も部活動やクラブの父母会へ積極的に参加し、児童が地域の一員として大切にされ、好きな部活動やクラブ活動が継続できるようにサポートしていきます。今年度も、小学生の地域のクラブ活動については職員が父母会として関わることになるため、すべての土日、祝祭日に対応しなければならず、担当職員の勤務負担が増えることが課題となりましたが、職員を増員するなどの措置を講じながら今年度も地域の父母の協力のもと、やり通すことができました。

(3) 児童自治会活動

小・中学生は児童集会を持ち、図画、作文、皆勤賞などで賞をもらった児童などに図書券をプレゼントし、意欲を向上させるよう取り組みました。特に愛隣園ニュースやクリスマス祝会プログラム表紙などの絵を児童から募集したところ、積極的に絵に興味を示す児童が増えており、褒められることの中で自信をつける良い機会となっています。しかし、毎月設けている集会ですが、コロナ禍でなかなか集会が持てない中、行事の中で褒める機会を設けるなど、工夫した取り組みを行いました。

意見箱の活用について児童集会や入所時のインテークにて適宜説明を行い、意見表明や苦情の申し出が活発になるよう話し合いました。また、今年度は令和6年から義務付けされるアドボカシー制度のモデル事業に参加し、職員の勉強会、児童への説明会、意見表明の取り組みを実施しました。このモデル事業から見られた課題などについて県やアドボカイト機関とも共有し、児童の意見表明が保障されつつ、職員との関係性が強化できるような取り組みを目標にしていきたいと思えます。

意見箱に書かれた内容については第三者委員に開示し、苦情解決委員会にて助言などを得ながら児童への回答を行ってきました。児童の希望によっては、第三者委員と児童が面接を行うことやお手紙が欲しいなどの要望が選択できるような取り組みを継続しています。

中高校生については、部活動やアルバイトでなかなか自治会を活性化できない状況にあるため、小集団や個別の話し合いを増やし、児童の声を吸い上げるようにしてきました。児童から日常の門限時間、携帯電話の取り扱いについて意見が出ていたので、全体の約束事も含め子どもたちが自分の生活の場として認識できるよう継続して話し合い、委員会活動の中に位置づけることで、現場の職員と児童で話し合いができるような自治会を目指していきたいと思えます。前年度要望のあったWifi環境については、ハード面で整備を行い、ホームでも必要に応じて使用できるようにしました。

キャンプは、児童らと話し合いながら、児童らが要望する内容に沿って計画・

実施できました。自立のために必要なスキルやネットの効果的な活用方法など、自立支援プログラムにて外部講師の研修を卒園生向けに実施することができました。児童らの意見を良いかたちで生活に反映できるよう継続して取り組みを行いたいと思います。

また、中高校生の入所も増加しており、入所前に丁寧に施設にあるルールの必要性、権利擁護の取り組み、進路の選択などの説明を行う必要性を強く感じており、インテーク用のパンフレットを作成、活用し実施する中で、入所前から高校生の意見を吸い上げることができるよう継続して取り組みました。

(4) 性(生)の尊厳

去年度はコロナ禍で中止となったCAP大人ワーク、子どもワーク、「いのちの教室」を実施できました。ただし、個別の性教育は継続して行い、性的事故を防げるよう生活場面で性的な課題となっている部分について話し合い、職員の性や人権に対する意識を高め、生活場面での関わり方で職員が意識してよりよい言葉かけができるよう取り組みました。また、チェックリストを活用し、施設全体でどこか課題となっているか検証作業を常に現在進行形で検討するようにしています。そのチェックから見えてきた課題として、ハード面にて、女子の洗濯干し場に男子側から渡ることができないような工事を予定しています。(今年度予定していましたが、業者の都合で来年度実施予定です)

これまでの取り組みの中で職員も一緒に性について学ぶ機会となり、生活の場で子どもたちへの適切な支援ができるよう意識付けがなされており、来年度もより良い性(生)の研修を考えていきます。また、研修だけに留まることがないように、職員の意識、技術の向上を目標に今後も取り組みを続けていきます。また、神戸児童間暴力研究会との研究協議によって、当園に沿った児童間暴力予防のためのマニュアルやアセスメントの方法を確立できるよう取り組みも継続していきたいと思います。

(5) 社会化の促進

学校PTAの役員及び地域PTAの係を輪番制で一ホームが担い、継続してPTA活動に積極的に参加しました。学校PTAにおいては、小学校で特に気になる児童の学年やクラス的环境委員として役員を引き受け、PTAの方々や先生方との連携強化に努めました。

今年度も、コロナ禍にあって愛隣園福祉バザーが開催できず、地域の方々とボランティア活動を通して関わりが持てなかったのは残念でした。

体育館などの施設を地域の行事やスポーツ活動に開放し、地域の活動に協力してきましたが、コロナ禍で去年度よりは活動回数が減りました。今年度は、コロナ禍にあり、地域の民生委員や小中学校の初任者研修等の見学、施設説明の受け入れが困難な状況でした。

週に1度の礼拝を教会やホームで行い、教会との連携を図り、教会で行われる行事（クリスマス、イースター、キャンプ、土曜クラブ等）への参加もコロナ禍で縮小や中止となってしまいました。、行事の中止にてキリスト教への理解や教会員と児童、職員の交流を深められなかったのが残念でした。

これからも地域との繋がりを大切にし、地域へのボランティア活動や共同のプログラムを通して、児童が地域の一員として成長できるような環境づくりを目指していきます。

（6）施設機能の強化

施設機能強化推進費を有効に活用し、県内外への専門的な研修へ職員を参加させる予定でしたが、コロナ禍で計画していた研修の中止もありました。しかし、リモートによる研修も増えてきた為、環境を整備しリモート研修にて職員が希望する研修にも参加することができました。特に県外での研修においては、児童養護施設がこれから向かう方向性、より複雑化するニーズに対する支援のあり方等、全国的な取り組みや課題などを学ぶ機会となるため、他施設との情報交換の場としても継続して取り組んでいきたいと思ひます。通常、本土研修へは、予算の都合上3名程度の派遣になりますが、今年度もリモート開催にて九州児童養護施設職員研修などに多数の職員が受講でき、学ぶ機会を確保できました。

今年度は、県の「沖縄県児童養護施設等資質向上支援事業」として権利擁護に関する研修を実施しました。アドボカシーや意見表明など、改正児童福祉法で強調されている支援について学びを含めました。また、性教育とその対応について学びを継続している遠藤先生のSVも含めた取り組みも継続することができ、職員をエンパワメントできたことは大変有難いと思ひます。コロナ禍でも、創意工夫により継続できた研修もあるので、より充実できるような考えていきたいと思ひます。

今後も継続して研修を実施し、ケースの見立てのみならず、自立支援計画の策定と活用まで児童の支援に生かせるような研修の計画を立てていきたいと思ひます。

また、コロナ禍で回数は減りましたが、「こころサポート事業」の嘱託医である尾野先生をSVに迎え、個々のケースについてケース検討会を重ね、支援の方法について学習を続けてきました。特に、発達障害、無気力、虐待によるPTSDを抱える児童への関わり方について学びを継続できました。

児童養護施設職員資質向上事業の「地域分散化」「高機能化」へ向けた二つの研修を2名の職員が受講できました。今年度もこの新たな研修の企画に「CAPおきなわ」に協力するかたちで参画し、当園の地域分散化の取り組みを発表する体験もできました。この研修への参加により、どの職員もリーダーを担える

よう継続して取り組んでいきたいと思ひます。

今年度は、就職する3名の児童が卒園し、自動車免許取得、貸付制度、後援会からの援助をいただきました。継続して、各児童の希望に沿った進路を選択できるように各制度の活用、当園の後援会からの支援金制度の整備等をお願いし、児童が夢を持って進学、就職の選択ができる体制を整えて充実させていけたらと思ひます。

リービングケアについても、厚労省からの配置が求められている自立支援担当職員を活用し、自立支援プログラムの参画と実施、企業との連携など、社会に出るために必要な知識、経験ができるよう取り組みを継続させていきたいと思ひます。

(7) ボランティアの活用状況

今年度もコロナ禍によりボランティア活動の受け入れや活動そのものも難しかったです。

(8) 関係機関との連携

家庭支援専門相談員を中心に、児童相談所、児童の家族に関わる関係機関や病院、保健師等と連携を図りました。ケースによっては、児童相談所とケース検討を行いました。

小・中学校並びに警察署とは、日頃の連携はもちろん、園児の情報交換や地域の子どもたちの状況について話し合うなど、情報の共有に努めました。今後も各関係機関との連携強化や児童への支援の充実に向けていきたいと思ひます。

アフターケアについても、障害者支援センターとの連携や沖縄県自立支援事業所「にじのしずく」など、必要に応じて関係機関と連携して対応してきました。

また、継続して地域の児童デイを活用し、発達障害等を抱える児童にとっては個別に特別な活動ができています。

(9) 家庭復帰促進と小規模ケア

家庭支援専門相談員を中心に児童相談所や関係機関と連携のもと、親や親族との関わりを密にすることができ、親子交流を継続してきました。特に今年もコロナ禍とあって、手紙や電話交流など工夫をしながら親子関係を構築してきました。年度途中で家庭復帰になったケースが1ケースでした。家庭復帰したケースについても、児童相談所や地域と連携しながら卒園後の状況把握に努め、必要に応じて支援を継続しています。複雑化する家庭状況もあり、家族の再統合の方法も多岐に渡ってきました。児童の視点に立ちつつ、適切なアセスメントができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

FSWを中心に親との関係づくりを継続する中で、就労や児童らとの関わりに

意欲が見られてきた親もおり、継続して親や関係機関との連携を強化し、子どもたちの意見も反映しながら、「子どもたちの最善の利益」「家族の再統合」に向けて働きかけていきます。

家庭支援専門相談員による家族等に対する年間の主な取組状況

家庭訪問	関係機関との連携	ケースのモニタリング会議	親への就労支援等	卒園児に対するアフターケア	親との面談(来所)
22回 (9ケース)	34回	37回 (44ケース)	9回 (3ケース)	6ケース	19回

(10) 被虐待児等地域療育支援・体制構築事業(こころサポート事業)の推進と評価

今年度も県内里親、FH(ファミリーホーム)を対象に療育コーディネーター及び心理士による面接、相談支援や各こころサポート事業所との連携により、研修などを企画し、里親、FH向けに発達障害の理解や養育について講師を招いて勉強会を実施しましたが、コロナ禍にあって開催数が減り、里親など外部へのアプローチなど制限する状況でした。

里親、FH主催の連絡会や行事は可能な限り開催し、里親、FHの現状を把握する中で情報を共有しながら、各種制度についても情報提供を行いました。コロナ禍で外部と関わりが持てない分、当園の児童を対象に個別面接や個別的な関わりを多く持つようにし、特に個別対応が必要な児童と関わることができました。また、嘱託医のSV研修も可能な限り開催し、貴重なアドバイスや職員のエンパワメントに繋がっています。

都道府県家庭的養育推進計画の推進に伴い、県内では乳児院における里親のフォスタリング事業もスタートしており、フォスタリング機関との連携を密にし、未受託の里親や、里親会、児童相談所と連携して初任者研修やレスパイトケアなど具体的な取り組みについて検討しています。

こころサポート事業による主な年間の取組状況

里子への児童面接(相談員)	里子への心理面接(心理士)	里親宅訪問	連絡会・研修会企画実施	嘱託医によるケース検討会・支援者面接	里親との面接及び電話相談等
1回 (30回)	13回 (125回)	2回	連絡会22回 研修企画11回	検討会(4回4 ケース)	55回 (6ケース)

()内は当園児童の対応回数

(11) その他
 人材育成について
 実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
保育 実習	沖縄福祉保育専門学校	1名	R4年5/30~6/10(10日間)
		1名	R4年8/14~8/27(10日間)
		2名	R5年1/8~1/21(10日間)
		2名	R5年2/5~2/17(10日間)
	育英義塾	1名	R4年11/14~11/25(10日間)
	沖縄女子短期大学	2名	R4年7/19~7/29(10日間)
合計	3校	9名	R4年7/10~7/29(10日間)

今年度の実習もコロナ禍により短縮、中止となる学校が相次ぎ、受け入れが困難な時期もありましたが、安全面に配慮しながら養成校からの要望に合わせて可能な限り受け入れ体制を整えてきました。

② 児童の月別在籍状況(各月初日現在)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均在籍数
男	17	19	19	19	20	19	19	19	19	21	21	21	19
女	17	19	19	19	21	21	22	22	22	22	22	22	21
計	34	38	38	38	41	40	41	41	41	43	43	43	40

(地域小規模児童養護施設「こひつじの家」男子6名、「ともしびの家」女子6名、「あかりの家」男子5名含む)

③ 児童の養護原因別状況(2023年3月1日現在)

養護原因			男	女	計	
①	家出	父	0	0	0	
		母	0	0	0	
		父・母	0	0	0	
②	死亡	父	0	0	0	
		母	0	0	0	
		父・母	0	0	0	
③	離婚	0	0	0		
④	傷病 (精神障害者を除く)	父	0	0	0	
		母	2	0	2	
		父・母	0	0	0	
⑤	家庭環境	虐待				
		身体的虐待	5	3	8	
		心理的虐待	2	4	6	
		性的虐待	0	1	1	
	ネグレクト	4	6	10		
	その他	就労1 薬物1	経済的3 精神疾患4	7	8	15
⑥	その他	1	0	1		
総計			21	22	43	

④ 児童の学年別状況(2023年3月1日現在)

学年	小学生							中学校				高等学校				幼稚園児	保育園児	高等特別支援学校	能力開発校	その他	合計
	一年	二年	三年	四年	五年	六年	小計	一年	二年	三年	小計	一年	二年	三年	小計						
男	0	0	1	2	0	3	6	3	3	3	9	1	2	2	5	1	0	0	0	0	21
女	1	2	1	2	3	2	11	3	0	1	4	2	1	0	3	0	0	4	0	0	22
計	1	2	2	4	3	5	17	6	3	4	13	3	3	1	8	1	0	4	0	0	43

⑤ 児童の出身地別状況(2023年3月1日)

出身地	男	女	計
① 那覇市	4	4	8
② 宜野湾市	3	0	3
③ 石垣市	0	0	0
④ 浦添市	0	1	1
⑤ 名護市	0	0	0
⑥ 糸満市	5	6	11
⑦ 沖縄市	1	0	1
⑧ うるま市	3	2	5
⑨ 南城市	0	0	0
⑩ 豊見城市	2	2	4
⑪ 嘉手納町	1	2	3
⑫ 西原町	2	2	4
⑬ 久米島	0	3	3
合計	21	22	43

⑥ 児童の入退園状況(2022年4月1日～2023年3月31日)

	入所		退園・家庭復帰状況			
	入所	退所	家庭復帰	就職	進学(自立)	措置変更
男	5	3	1	2	0	0
女	5	1	0	1	0	0
計	10	4	1	3	0	0

⑦ 就進学状況 3月に中・高校を卒業して、就職又は進学をした児童は次のとおりである。

	性別	就 職	高校進学	就職進学	訓練校	大学・専門学校 進学	その他	合 計
中学生	男	0	3	0	0	0	0	3
	女	0	1	0	0	0	0	1
訓練校生	男	2	0	0	0	0	0	2
	女	1	0	0	0	0	0	1

⑧ 児童の年度別入退園状況(2023年3月31日現在)

	入 園			退 園		
	男	女	計	男	女	計
1953年度	36	29	65	0	2	2
1954年度	10	12	22	11	14	25
1955年度	8	19	27	13	14	27
1956年度	9	7	16	8	4	12
1957年度	8	14	22	21	15	36
1958年度	25	10	35	3	9	12
1959年度	10	6	16	13	6	19
1960年度	7	3	10	11	5	16
1961年度	20	8	28	15	11	26
1962年度	7	12	19	7	6	13
1963年度	8	8	16	5	1	6
1964年度	2	8	10	3	4	7
1965年度	9	7	16	2	7	9
1966年度	12	11	23	3	4	7
1967年度	11	7	18	15	14	29
1968年度	8	9	17	6	5	11
1969年度	4	8	12	9	12	21
1970年度	11	11	22	18	12	30
1971年度	13	14	27	16	10	26
1972年度	11	10	21	17	11	28
1973年度	10	2	12	5	10	15
1974年度	13	6	19	8	4	12
1975年度	8	13	21	5	1	6
1976年度	9	6	15	18	12	30
1977年度	15	7	22	9	10	19
1978年度	8	12	20	15	16	31
1979年度	10	6	16	11	6	17
1980年度	6	3	9	6	6	12
1981年度	19	16	35	12	10	22

1981年度	19	16	35	12	10	22
1982年度	7	0	7	7	11	18
1983年度	9	17	26	9	9	18
1984年度	8	3	11	8	9	17
1985年度	12	11	23	9	11	20
1986年度	13	6	19	12	6	18
1987年度	10	8	18	8	9	17
1988年度	11	11	22	13	5	18
1989年度	5	8	13	9	10	19
1990年度	13	11	24	10	12	22
1991年度	11	9	20	13	6	19
1992年度	9	12	21	17	15	32
1993年度	12	11	23	9	6	15
1994年度	11	6	17	4	11	15
1995年度	7	4	11	11	5	16
1996年度	6	9	15	7	6	13
1997年度	12	10	22	13	8	21
1998年度	11	7	18	6	9	15
1999年度	9	9	18	10	7	17
2000年度	8	4	12	7	4	11
2001年度	9	7	16	9	4	13
2002年度	5	5	10	4	5	9
2003年度	3	5	8	5	4	9
2004年度	2	1	3	4	12	16
2005年度	5	5	10	13	7	20
2006年度	10	11	21	8	9	17
2007年度	8	10	18	7	6	13
2008年度	6	1	7	12	7	19
2009年度	6	3	9	7	6	13
2010年度	1	1	2	2	3	5
2011年度	0	0	0	6	2	8
2012年度	4	8	12	7	7	14
2013年度	3	1	4	5	7	12
2014年度	7	5	12	3	6	9
2015年度	3	3	6	3	1	4
2016年度	2	3	5	0	0	0
2017年度	0	1	1	2	1	3
2018年度	1	0	1	1	1	2
2019年度	4	0	4	7	2	9
2020年度	0	2	2	3	5	8
2021年度	3	2	5	1	2	3
2022年度	5	5	10	3	1	4
合 計	598	519	1117	579	498	1077

⑨ 退園状況

	男	女	計
社会復帰	160	117	277
家庭復帰	342	292	634
養子縁組	14	20	34
措置変更	58	60	118
その他	5	9	14
合計	579	498	1077

⑩ 意見箱受付(苦情解決委員会報告)状況

相談内容	延件数(実数)	対応
ホームを移動したい	4	面談を行う。それぞれの理由を聞き、現ホームでの具体的な解決策を一緒に考えていく中で、解消される。
他のホームを見学したい	3	手紙回答を希望したので、手紙で返事後に面談を実施。一緒に書いたようで、他児との兼ね合いもあるので、検討することになる。教会へ外出できるホームの外出できることが羨ましいとのこと。ホームでの外出についても検討が必要であることを共有して、ホーム行事として検討することになる。
人の物を盗る人がいるので注意してほしい	1	投函児童に事実確認を行い、盗ってしまった児童と面談する。ホームを移動してきたばかりで、寂しさや不安も窺えたため、その理解もしながら、注意だけに留まらず、職員との関係構築や他児との関係性も配慮していくことを全体で共有する。
リモート学習できるようWifiを設置してほしい。	1	すでに設置してあるので、利用方法について説明する。
ゲーム機が使いたい。	1	時間の制限などを設けている理由を説明し、使用時間などを調整していくことで納得する。その他、プログラミングに関する周辺機器の整備も寄贈を通して検討していくことになる。
おやつにタフグミを出してほしい。	1	栄養士と情報共有し、翌月のおやつで対応する。
～と一緒に部屋は嫌だ	2	投函児童と面談する。2名が一緒に投函している。新しい児童が入所したことにより、女子児童の中で関係性がこじれていることが分かる。当該児童のフォローの話し合いを実施する。また、新しく入所した児童だけではなく、その関係性の中で元々いる児童の同士が奪い合いの状況も聞かれたので、職員全員で共有し、関係構築を意識して行うことを確認する。
合計	13	全ケースを苦情解決委員会に報告済

*今年度は、コロナウイルスの影響にて、苦情解決委員会が年に4回の開催となる。あとの月は、書面にて行う。

⑪ 週間及び毎月の行事・会議

	行 事 ・ 会 議	
週 間	<ul style="list-style-type: none"> ・心理士・ホーム連絡会 ・FSW・ホーム連絡会 ・教会学校 	
月 間	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体会議 ・児童集会 ・全体労作 ・聖書勉強会 ・ケース検討会等 ・管理者連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護課会議 ・ホーム会議 ・防火避難訓練 ・苦情解決委員会
毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会及び礼拝(月曜～金曜9:15～) 	

⑫ 一時保護児の受入状況

	中央児童相談所	コザ児童相談所
男	2	3
女	3	3
合計	5	6

8名は一時保護から措置となる。1名は3月31日付で一時保護中。

⑬児童の日課

時間	平 日		日曜日等の休日
	幼 児	幼稚園・小学生・中学生以上	
6:30	起床・洗面		7:00 起床
7:00	朝食		
7:45	登園準備	登 校	8:00 朝食
8:30	園内保育園 登 園		9:00 日曜礼拝
11:30		学 校	部屋の片づけ (10:00~11:00) (夏休み等は午前 中学習時間)
12:00			
13:00	降 園	幼稚園児下校 (火曜日は弁当)	
15:00	お昼寝 余暇時間 おやつ	下 校	
	入 浴 夕 食	おやつ 宿題・明日の準備 (小学生) 余暇時間	
18:00		入 浴	
19:00		夕 食	
20:00	就 寝 (絵本の読み 聞かせ)	余暇時間	
21:00		就 寝	学習時間 (中・高校生)
22:00			就 寝 (消灯)

⑭2022年度中に児童養護のために実施したおもなプログラム

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
4/1 (金)	9:00辞令交付式 「あかりの家」体験生活スタート		
4/26 (火)	10:00ここサポ(中央:栄野川CW来園)		
4/28 (木)	14:00~16:00リモート4月ここサポ連絡会(愛隣園) 鯉のぼり掲揚式		
4/29 (木)		暦	昭和の日
5/2 (月)	10:00ここサポ(中央:栄野川CW来園)		
5/3 (火)		暦	憲法記念日
5/4 (水)		暦	みどりの日
5/5 (木)		暦	こどもの日
5/6 (金)	「あかりの家」引っ越し		
5/12 (木)	9:15~10:00全体会議 10:00~11:00養護課会議 11:00~12:00聖書勉強会 13:00~15:00ホーム会議		
5/17 (火)	13:00 性暴力研修		
5/18 (水)	14:00~17:00個別対応職員連絡会 Zoom		
5/19 (木)	15:00 ここサポ(山城・島袋)来園		
5/20 (金)	13:00~ここサポ会議(リモート)		
5/21 (土)	9:00~12:00ここサポ研修(山川)		
5/24 (火)	10:00自立支援プログラム第一回会議 Zoom		
5/26 (水)	14:00~16:00ここサポ連絡会(島添)		
5/27 (金)	10:00~理事会 14:00~16:00研修委員会オンライン(瑞慶覧) 17時~U,R、N,R予防接種対応(山入端)		
5/28 (土)	10:00~15:00ここサポリモート研修(瑞慶覧) 13:00~15:00高校生ミニサロン(山川)		
6/3 (金)	13:30~16:30第1回中央施設ケア		
6/4 (土)	9:00~12:00ここサポ心理勉強会(視聴覚室横)		
6/7 (火)	13:30管理者会議 14:00リモートここサポ連絡会(図書室)		
6/8 (水)	14:00苦情解決委員会		
6/10 (金)	9:30評議委員会 13:30~コザ施設ケア		
6/13 (月)	10:00~12:00ここサポ関係者会議リモート 自立支援プログラム Zoom 10時~山入端		
6/14 (火)	九州児童養護施設研究大会		
6/15 (水)	九州児童養護施設研究大会		
6/16 (木)	13:30理事会 希望・FSW連絡会(図書室)		
6/18 (土)	10:00~11:45ここサポアートセラピー心理士		
6/20 (月)	13:30FSW連絡会 16:30水質調査		
6/21 (火)	10:00アフターネットワーク研修(県社協)前川・山入端		

6/23 (金)			暦	慰霊の日
6/27 (月)	13:30養護課会議			
6/28 (火)	10:00~12:00ここサポ中部サロン(美さと) 13:00~14:00がじゅまーる訪問 14:00~16:00支援担当者部会(島添の丘)知名・みのり			
6/29 (水)	13:30~希望・FSW・心理士連絡会			
6/30 (木)	14:00~16:00ここサポ連絡会(さとおや)			
7/6 (水)	14:00~15:00がじゅまーる打ち合わせ(ここサポ)			
7/7 (木)	9:15~10:00全体会議 10:00~11:00養護課会議 11:00~12:00聖書勉強会 13:00~15:00育児・介護学習会 (江尻事務所)			
7/12 (火)	10:00~自立支援プログラム第3回会議(ZOOM) 13:30~児童間性暴力対策委員会			
7/13 (水)	10:00~12:00ここサポ関係者会議ZOOM			
7/18 (月)			暦	海の日
7/19 (火)	10:00~11:00養護課会議 13:00~15:00ホーム会議 13:00~15:00課長級連絡会 7/19~7/29沖女短実習			
7/25 (月)	15:00一時保護心清寮へS3姉弟			
7/26 (火)	7/19~7/29沖女短実習 8:30~沖女担当職員激励訪問 対応:園長			
7/28 (木)	10:00~2:00ここサポオープンスペース(愛隣園)ズーム 14:00~16:00ここサポ連絡会(美さと)ズーム			
8/2 (火)	10:00~自立支援プログラム第4回会議(ZOOM) 中高生男子キャンプ(希望) 車(エブリー)予約			
8/4 (木)	9:15~10:00 全体会議 10:00~11:00養護課会議 13:00~15:00ホーム会議			
8/5 (金)	16:00実習生オリエンテーション			
8/10 (水)			暦	ウンケー 山の日 ウーケイ
8/11 (木)				
8/12 (金)				
8/15 (月)	実習生受け入れ			
8/16 (火)	10:00~12:00養護課会議 13:00~15:00ホーム会議			
8/17 (水)	8/17~8/19渡嘉敷キャンプ6グループ 引率:山入端、山川			
8/19 (金)	8/19~8/21じんぶん学校(N、K K、Y)			
8/22 (月)	9:30ここサポ(S・A島袋来園) 10:00自立支援プログラム高3年生(3人) にじのしづくにて調理実習10:00~ 山入端			
8/23 (火)	ロワジュールホテル招待 児童8人 対応山入端 14:00~16:00尾野Dr来園(里親)			
9/5 (月)	自立支援プログラム 担当者会議 ZOOM 16時30分 山入端			

9/6	(火)	自立支援プログラム 担当者会議 ZOOM 10時 山入端		
9/7	(水)	9:00病院受診(K,R)		
9/8	(木)	10:30~15:30ここサポ南部サロン(愛隣園)		
9/14	(水)	14:00~15:00苦情解決委員会		
9/16	(金)	10:00~13:00ここサポ中部サロン(美さと)		
9/17	(土)	9/17~9/18 ともしびキャンプ (渡嘉敷キャンプ)		
9/19	(月)		暦	敬老の日
9/20	(火)	10:00~11:00養護課会議 13:00~15:00ホーム会議 11:00~コラソンCBCzoom(園長、山入端)		
9/22	(木)	14:00~16:00ここサポ連絡会(愛隣園)		
9/23	(金)		暦	秋分の日
9/24	(土)	9時半~自立支援プログラム 対応:山入端 参加者:A,R M,K K,R		
10/4	(火)	14:00~15:35 里親会無料上映会てだこ小ホール		
10/8	(土)	こひつじキャンプ(座間味) 10/10まで		
10/10	(月)		暦	スポーツの日
10/17	(月)	10:00~アフターケア会議 山入端 14:00~コラソンCBC zoom(園長、山入端)		
10/18	(火)	10:00~12:00養護課会議 13:00~15:00ホーム会議		
10/19	(水)	14:00~個別対応会議ZOOM 山入端 峯井		
10/22	(土)	9:30~16:00自立支援プログラム 対応:山入端 参加者:A,R M,K K,R		
10/27	(木)	10:00 フレア打ち合わせ 課長 山入端		
10/31	(月)	10:00エフネス 来訪(顔合わせ)園長・山入端 15:30 インフル予防接種(小学生) 16:45 ハロウィンパーティー		
11/4	(金)	午前中:愛の園検診にて会議室・図書室借用 13:30 児童間性暴力		
11/5	(土)	13:00~コラソン招待 引率:山入端、当銘、安慶名、松村 A,H A,Y N,K, Y,M G,R N,Y K,N Y,T Y,M H,S		
11/8	(火)	9:00~12:00前向き子育てプログラム 17:10実子SK/18:10sm面接ここサポ		
11/10	(木)	10:00嘉手納町役場施設見学 11:00聖書勉強会 13:30管理者会議		
11/11	(金)	9:30 養護課会議・施設ケア打ち合わせ 13:30 ホーム会議		
11/12	(土)	ロワジュールホテル(小5~6) 里親北部サロンバーベキュー		
11/14	(月)	性暴力まとめ		
11/15	(火)	10:00~養護課会議 10:00~12:00前向き子育てプログラム(ここサポ) 10:00~11:30里子アフター会議		

11/16 (水)	10:00～養護研究大会 第3部会 ZOOM		
11/17 (木)	16:00～小学生インフルエンザ予防接種		
11/19 (土)	9:30～16:00自立支援プログラム 対応:山入端 参加者:A,R M,K K,R		
11/21 (月)	14:00～にじのしずく棚原さん来訪(図書室) 高3生(K,R M,K A,R)養育相談(ホーム職員のみ)		
11/23 (水)	9:00集合 ここサポオープンスペース里親(美さと)	暦	勤労感謝の日
11/24 (木)	一時保護受け入れ		
11/25 (金)	10:00～資質向上研修(ZOOM) 13:00～コザ施設ケア		
11/29 (火)	9:00子育て研修(瑞慶覧)		
12/4 (日)	里親会中部地区クリスマス会		
12/5 (月)	比嘉メリーさん親族来園		
12/6 (火)	10:00～コラソンCBC ZOOM(山入端)		
12/8 (木)	13:30～15:00 資質向上ZOOM(山入端)		
12/10 (土)	12:00～ロワジュールホテル招待参加(出発) 参加:G,S H,S K,K I,H 引率:山川 長田 石川		
12/11 (日)	15:00～ロワジュールホテル招待参加(戻り) 参加:G,S H,S K,K I,H 引率:山川 長田 石川 9:00～自立支援プログラム(山入端)		
12/14 (水)	14:00～15:00 苦情解決委員会 13:30～15:00 資質向上ZOOM(山入端)		
12/15 (木)	9:00～16:00 ここサポプレゼント包装(さとおや)		
12/17 (土)	9:00 ここサポアートセラピー 南部サロン		
12/20 (火)	10:00～12:00 前向き子育てトリプルプログラム 10:00～12:00 養護課会議 13:00～15:00 ホーム会議 第三者評価研修(園長)		
12/21 (水)	14:00～16:00ここサポ連絡会(美さと)		
12/23 (金)	17:00～18:30クリスマス祝会		
12/26 (月)	10:00～11:00CAPワーク中高校生男子 13:00～13:45小1～小4男子 10:00～11:00小5～小6男子		
12/27 (火)	10:00～11:00CAPワーク中高校生女子 13:00～13:45小1～小4女子 10:00～11:00小5～小6女子		
12/28 (水)	仕事納め 大掃除		
2023 1/1 (日)	11:30児童新年会		
1/2 (月)	在寮児童外出行事(外食)		
1/4 (水)	11:30職員新年会		
1/5 (木)	9:30～16:00県監査(コロナ禍にて中止) M,K コロナ隔離解除		

1/10	(火)	福祉専門学校実習生(1/10~21)		
1/11	(水)	10:00里親会50周年余興練習(美さと)		
1/12	(木)	9:15~10:00 全体会議 10:00~11:00養護課会議 13:00~15:00ホーム会議		
1/13	(金)	ここサポだより納品		
1/14	(土)	14:00~16:00ドローンプログラム体験(小5~中3)体育館		
1/16	(月)	10:00~12:00里親会50周年余興練習(愛隣園)		
1/17	(火)	10:00~12:00 養護課会議 13:30~15:00 アドボカシー職員説明会		
1/18	(水)	14:30~16:00 資質向上研修(ZOOM会議) 参加:山入端		
1/20	(金)	夕方~ 鳥取中央ライオンズクラブ来訪(対応:園長)		
1/21	(土)	13:00~17:00里親会50周年記念(ゆいホール)		
1/22	(日)	11:00 卒園生保護猫活動体験イベント		
1/24	(火)	14:00~16:00尾野Dr来園		
1/25	(水)	午前中、ともしび公用車購入契約予定		
1/26	(木)	14:00~16:00ここサポ連絡会(さとおや)		
1/27	(金)	13:30~産業医職員面談 餅つき大会 感染症拡大(防止)の為中止		
1/28	(土)	13:00~17:00里親会50周年記念(ゆいホール) 9:00~17:00おきでんIH調理実習 11:00~20:00宮古サロン		
2/2	(木)	小規模化研修 会場(愛隣園・体育館) 対象者:山入端・前田		
2/3	(金)	小規模化研修 会場(美さと児童園) 対象者:山入端・前田		
2/4	(土)	施設対抗スポーツ大会(男子サッカー優勝)		
2/5	(日)	14:00~琉球キングス観戦招待 引率:篠田、真子 児童:A,R A,I T,E O,R U,R N,R		
2/6	(月)	U,R(こひつじ)コロナ陽性 自立支援室隔離		
2/8	(水)	13:30管理者会議		
2/9	(木)	9:15~10:00全体会議 10:00~11:00養護課会議 11:00~12:00聖書勉強会 13:00~15:00ホーム会議 14:00~15:00苦情解決委員会		
2/13	(月)	10:00~アフターケア会議(ZOOM) 山入端 12:00~K,R(卒園児)アフターケア 山入端		
2/14	(火)	13:00~15:00 CAP職員研修		
2/15	(水)	個別対応連絡会(若夏) 参加:嶺井		
2/16	(木)	14:00~16:00 ここサポ連絡会(愛隣園)		
2/19	(日)	ヘルオキ主催卒園生スーツ寄贈 対象:M,K A,R K,R 引率:山入端		
2/20	(月)	10:00中央児相(栄野川CW)来園 ここサポ		
2/21	(火)	10:00~11:00 養護課会議 13:00~15:00 ホーム会議 10:00~13:00 中部サロン(美さと2F)		

2/22 (水)	15:00～RBCラジオ 卒園生取材 19:00～地域の福祉機関ネットワーク会議 15:00～津覇小訪問(ここサポ)		
2/23 (木)		暦	天皇誕生日
2/24 (金)	17:00～18:30 お別れ会(体育館)		
2/25 (土)	10:00～12:00北部サロン(名護城公園・ウーマクー広場)		
3/1 (水)	10:00～12:00臨時ここサポ連絡会(愛隣園) 16:00 吉水サロン打ち合わせ		
3/2 (木)	13:00～15:00 里親支援関係者会議(中児相)		
3/4 (土)	ホテル招待(小学生:マハイナ 中高生:ロワジュール) 引率:山入端 親泊 知名 金城(加奈子) 13:30～15:30 R4年度沖縄県里親会「壮行会」		
3/5 (日)	ホテル招待(小学生:マハイナ 中高生:ロワジュール) 引率:山入端 親泊 知名 金城(加奈子)		
3/7 (火)	14:00～16:00 児童間性暴力委員会		
3/9 (木)	14:00～15:30 吉水サロン(袋中園)		
3/10 (金)	17:00～18:30 壮行会(A,R K,R M,K)会議室		
3/14 (火)	10:00～12:00 養護課会議 13:30～15:00 ホーム会議		
3/15 (水)	島尻養護卒業式(K,R)		
3/16 (木)	14:00～がじゅまーる来園(ここサポ)		
3/17 (金)	15:00理事会 14:00里親訪問(宮里)		
3/18 (土)	中部サロン(ここサポ)		
3/21 (火)		暦	春分の日
3/24 (金)	16:00 避難訓練 16:30 児童集会		

⑮避難訓練実施状況

月	実施内容	月	実施内容
2022年4月	コロナ感染により中止	10月	早朝想定訓練
5月	通常訓練	11月	通常訓練
6月	通常訓練	12月	通常訓練
7月	通常訓練・救命講習	2003年1月	コロナ感染により中止
8月	通常訓練	2月	避難・消火・通報訓練
9月	夜間想定訓練	3月	通常・通報訓練

4. 職員に関する事項

① 人 事

〔採用〕		〔退職〕	
保育士	3名	調理員	1名
児童指導	2名	児童指導員	1名
夜勤専門員	1名	補助員	1名
調理員	1名		

② 職員の福利厚生事業の実施

名称	年月日	内 容	参加人数	経 費
福利厚生センターへの加入	1994年7月1日	健康生活給付、生活習慣病予防検診費用助成、入学お祝い品贈呈、永年勤続記念品贈呈、クラブ・サークル活動助成	39人	390,000円
給与手当	2022年度	子ども手当	9人	760,000円
健康診断		子宮・乳がん検診	9人	50,378円
		人間ドッグ	20人	257,982円
		インフルエンザ予防接種	12人	35,168円

③研修の状況(施設内研修)

実施月	研修会名	開催者 (場 所)	参加者職種	参加者数	研修日数	研修結果の 報告方法
2022年 9月	・ケース検討会 (E.S)	愛隣園(愛隣園) 尾野先生SV	心理士 FSW 保育士 児童指導員 療育コーディネーター	9名	半日	養護課会議
11月	・ケース検討会 (R.K)	愛隣園(愛隣園) 尾野先生SV	心理士 FSW 保育士 児童指導員 療育コーディネーター	7名	半日	養護課会議
2023年 1月	・ケース検討会 (R.I)	愛隣園(愛隣園) 尾野先生SV	心理士 FSW 保育士 児童指導員 療育コーディネーター	10名	半日	養護課会議

施設外研修

実施月	研修会名	開催者 (場 所)	参加者職種	参加者名	研修日数	研修結果の 報告方法
2022年 6月	第69回九州児 童福祉施設職 員研究大会	沖縄県社会福祉 協議会(愛隣園オ ンライン)	施設長 児童指導員 保育士 栄養士 心理士 FSW 個別対応	10名	2日	復命書
7月	令和4年度児 童養護施設等 初任者研修会	沖縄県児童養護 協議会(沖縄県総 合福祉センター)	指導員	2名	1日	復命書
	さまざまな領域 における児童 虐待への対応 とケア	心理オフィスK(愛 隣園オンライン)	心理士	1名	1日	復命書
11月	第39回沖縄県 児童養護研究 大会	沖縄県児童養護 協議会(愛隣園オ ンライン)	施設長 指導員 保育士 栄養士 心理士 FSW	17名	1日	復命書

12月	第75回全国児童養護施設長研究協議会	全国児童養護協議会(愛隣園オンライン)	施設長	1名	1日	復命書
2023年 2月	10代の妊娠、出産、子育て～その現状と課題から必要とされる支援とは～	一般社団法人「ある」(沖縄県立博物館美術館及びオンライン)	心理士 児童指導員 保育士 自立支援担当職員	6名	1日	復命書
	令和4年度児童養護施設職員等資質向上事業(小規模且つ地域分散化・高機能化に必要な人材育成研修)	CAPおきなわ(愛隣園、美さと児童園)	主任児童指導員 自立支援担当職員	2名	2日	復命書
	令和4年度児童養護施設職員等資質向上事業(CAPワークショップ)「子どもと大人の権利擁護」	CAPおきなわ(愛隣園)	児童指導員 保育士 心理士 FSW 自立支援担当職員 個別対応職員等	20名	半日	養護課会議

2022年度ワークセンター愛の園事業実績報告

1. 事業概要について

指定障害福祉サービス事業所（多機能型事業所）として、就労継続支援B型事業（定員 34 名）、就労移行支援事業（定員 6 名）、共同生活援助事業（定員 9 名）、相談支援事業のサービス提供を行いました。今年度、就労継続支援B型については、女性利用者 1 名が就労移行支援から就労継続支援 B 型にサービス変更、男性利用者 2 名、女性利用者 1 名の計 3 名が退所し、43 名の利用実績となっており、六つの作業班でさまざまな業務内容に応じた訓練・支援を行いました。一方、就労移行支援事業については 6 名の定員に対し 1 名の利用実績に留まっており、今後も利用ニーズの動向を見ながら新規事業への変更を含め総合的な検討を行っていく予定です。

共同生活援助（定員男子寮 5 名、女子寮 4 名）は今年度も満床で推移し、引き続き順調な運営ができています。利用者やそのご家族の高齢化に伴い、共同生活援助事業のニーズは年々高まっており、今後グループホームの増設等も進めて行く必要があります。

相談支援事業所「じょいまーる」では、与那原町、西原町、南城市の 3 市町の方々を中心にサービスの提供を行いました。現在、指定特定相談支援事業は 95 名の利用契約に達しており、今後も利用ニーズの拡大が予想されるため引き続き相談員の人材確保、育成、定着を図っていく予定です。また、与那原町の指定一般相談事業（児童）の受託も 10 月から開始し、地域定着支援・地域移行支援や医療的ケア児への対応等、与那原町と連携し今後の具体的な方針について協議しているところです。

2. 事業所運営について

1) 支援体制について

- ・今年度は職業指導員 4 名、相談員 1 名（追加配置）の計 5 名の非常勤職員を採用しましたが、年度末までに職業指導員 4 名、相談員 1 名が退職。前年度定年退職した生活支援員の後任も年間を通して配置がままならず支援課長がフルで現場のカバーに入るなど、支援員・相談員の人材確保と定着、育成に課題の残る一年でした。

2) 作業科目について（就労継続支援B型事業・就労移行支援事業）

- ・公園班（与那原公園除草業務、ゆうゆう公園除草作業、与那原中央病院敷地内

除草作業、町内 3 公園清掃作業)

- ・収集分別班 (与那原町リサイクル資源物収集及び分別業務)
 - ・家政 A 班 (手芸品・リサイクル商品の受け取り及び売店での販売、花苗販売、無農薬野菜の販売、下請け作業)
 - ・家政 B 班 (与那原町 3 公園清掃、下請け作業、室内清掃・消毒)
 - ・園芸班 (販売及び植栽用花苗・鉢物・貸鉢用プランター作り)
 - ・出向班 (那覇市公園花壇植栽維持管理業務、沖縄教区霊園管理業務、県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理業務)
- *年間を通して施設外就労訓練や作業訓練を、利用者一人一人の障がい特性や心身の状態、利用者の意向を聞きながら各班に配置し、個々のペースに即した支援に努めました。

3. 利用者に関する事項について

1) 利用者の入退園の状況について

女性利用者 1 名が入所しました。

男性利用者 2 名、女性利用者 1 名が退所しました。

2) 利用者入園期間及び年齢について

入園期間 15 年以上の利用者が 63%を占め、40 歳以上の割合も 77%になっており、加齢による身体機能や体力低下に対しての細やかな支援や提供プログラム等が課題になっています。また、開園以来初めて 40 代と 60 代の男性利用者が病気で亡くなり、健康維持についても配慮が必要だと痛感させられました。

3) 生産活動及び工賃支給状況について

家政班については、手芸品の製造と売店にてリサイクル商品や堆肥・土の販売、農家から季節の無農薬野菜を直接仕入れ販売等を行いました。また、園芸班で育てた季節の花苗を提供・販売することができました。2022 年度も新型コロナウイルスの影響により、施設外活動や販売等に制限があり、就労支援事業収入にもマイナスの影響はありましたが、利用者一人当たりの月平均支給額、約 26,000 円を維持することができました (全国平均は 15,000 円)。

4) 受託業務について

日本キリスト教団沖縄教区の霊園管理業務を始め、公共事業 (那覇市公園花壇管理、県議会庁舎内花壇植栽維持管理、与那原町資源ごみ収集分別作業、与那原町内公園 3 ヶ所の除草清掃作業及びトイレ清掃作業) を受託し就労支援収入の大きな柱とすることができました。

4. 職員に関する事項について

- 1) 退職者 5 名、採用 4 名、愛隣園からの異動 1 名
- 2) 県外研修及び県内研修については、オンラインでの参加を中心に、必要に応じて施設外開催の研修にも参加することができました。また、令和 3 年度の障害福祉サービス等報酬改定により今年度から虐待防止委員会の設置と職員全体への虐待防止に関する研修の実施が義務化されたため、施設内において障害者虐待防止に関する研修を開催いたしました。

5. 2022 年度中に実施した主なプログラムについて

2022 年度も新型コロナウイルスの影響でさまざまなイベントや行事等への参加は消極的にならざるを得ませんでした。園内行事等はコロナウイルス感染予防に十分配慮したプログラムを職員会議等で企画検討し、出来る限り実施、再開させていきながら、日々就労に勤しんでいる利用者さんたちの慰労やリフレッシュに努めました。

6. 共同生活援助事業について

グループホーム「愛さ」は 2014 年 3 月の事業開始から 9 年目となり、「美さ」は 2016 年 10 月の開所から 7 年目を迎えました。利用者一人一人の障がい特性や体調に合わせて、サービス管理責任者及び世話人や夜間支援員を中心に、担当職員や家族との連携のもと、基本的な生活習慣の確立や身の回りの整理整頓、洗濯、調理指導など地域の中で自立をめざした支援に取り組んできました。平日は、各事業所で各々の日中活動に取り組み、活動後はグループホームに帰宅。土日祝日は、一時帰省や余暇支援等を利用し外出を楽しんだり、年数を重ねるごとに自由かつ主体的に過ごすことができています。現在、共同生活援助事業は男子棟と女子棟の 2 ホームのみの運営に留まっていますが、喫緊の課題である“利用者の高齢化”や“親なき後の生活”も見据え、グループホームの増設を早急に進めていく必要があります。今後とも利用者及び家族の様々なニーズへの対応をより強化しつつ、地域の中で自立し安定した生活が送れるよう関係機関と連携を図りながら、さらなる事業展開を進めて行きたいと思っております。

7. 相談支援事業所「じょいまーる」について

2020年2月に開所した相談支援事業所「じょいまーる」も事業開始から3年目を迎えました。与那原町、南城市、西原町の3市町の方々を中心に、障害福祉サービス等利用計画の作成及びモニタリングの実施や一般相談等のサービス提供を行ってきました。今年度、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業の利用契約者数は全体で95件となっており、契約件数が多数重なった月には一時新規の契約を抑えるなど現体制で対応可能な件数の調整を行いました。また、今年度より与那原町の指定一般相談支援事業（児童）の受託も開始したため、現在の相談員体制では今後の新規の受け付けや一般相談の対応が厳しい状況となっているため、新たな相談員の確保と定着、育成が急務となっております。

8. その他

実習生の受け入れ等について

実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
施設実習	沖縄女子短期大学	3名	R4.7/19～8/1（10日間）

	学校名	人数	期間
後期就業体験	島尻特別支援学校	1名	R4.10/17～10/28（10日間）

職場体験受け入れ状況

	学校名	人数	期間
職場体験	与那原中学校	3名	R4.11/15（1日）

今年度の実習もコロナ禍の影響で受け入れが厳しい状況ではありましたが、養成のあった学校の要望に応じ、安全面への配慮と日程調整を重ねながら受け入れ体制を整えて実施しました。

施設の概要

1 事業の目的

障害者総合支援法にいう指定障害福祉サービス事業における、就労継続支援B型事業及び就労移行支援事業及び共同生活援助事業、相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、キリスト教的愛の精神で常に利用者の立場に立った適切な支援の提供を目的とする。

2 施設開所年月日

1988年(昭和63年)4月1日

2009年(平成21年)10月1日・・・指定障害福祉サービス事業へ移行

3 設置主体及び経営主体 社会福祉法人基督教児童福祉会 愛隣園

- 4 施設の規模及び構造
- (1) 敷地面積 4,399.50 m²
 - (2) 建物の面積 床面積 746.89 m²
 - (3) 建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建

5 事業所の名称及び所在地

指定就労継続支援B型及び指定就労移行支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名称 指定障害福祉サービス事業所 ワークセンター愛の園

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

指定共同生活援助を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名称 グループホーム 愛さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡南風原町字本部434-11

名称 グループホーム 美さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡与那原町字東浜86-2フォーレストSK101

指定特定相談支援及び指定障害児相談支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名称 相談支援事業所 じょいまーる

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

6 提供する指定障害サービスの種類、利用定員及び主たる対象者

事業者が本事業において提供する指定障害福祉サービスの種類、利用定員及び主たる対象者は次のとおりとする。

指定障害福祉サービスの種類	利用定員	主たる対象者
就労継続支援B型事業	34名	知的障害者
就労移行支援事業	6名	知的障害者
共同生活援助事業	9名	知的障害者
相談支援事業		知的障害児・者

7 作業科目

【就労継続支援B型】・【就労移行支援】

支援員 利用者

1	公園及び病院敷地内保清作業	公園班	1	5
2	リサイクル資源収集及び分別作業	収集分別班	4	17
3	手芸品製作及び常設売店販売担当	家政A班	2	6
4	公園トイレ清掃・下請作業	家政B班	1	4
5	販売用苗・鉢物・貸鉢用プランター作り	園芸班	1	6
6	那覇市等花壇植栽維持管理作業	出向班	1	5
		計	10	43名

8 職員体制

	就労移行支援	就労継続支援B型	共同生活援助	計画相談支援
管理者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)
サービス管理責任者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	—
生活支援員	1名	1名	—	—
職業指導員	1名	6名(1名兼務)	—	—
就労支援員	1名	—	—	—
目標工賃達成指導員	—	1名	—	—
事務員	—	1名	—	—
世話人	—	—	5名	—
夜間支援員	—	—	2名	—
相談員	—	—	—	3名(1名兼務)
送迎運転手	—	1名	—	—

9.利用者に関する事項

[1]入退園の状況(就労継続支援B型・就労移行)

本年度内における利用者の入退園の状況は下記のとおりである。

	入園	退園
男	0	2
女	1	1
計	1	3

[2]在所期間の状況(就労継続支援B型・就労移行)

2023年3月31日現在

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計
男	0	3	1	2	4	16	26
女	2	1	0	0	3	11	17
合計	2	4	1	2	7	27	43
割合	5%	9%	2%	5%	16%	63%	100%

[3]月別皆勤者数【平均 27人】63%

2023年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
合計	27	27	28	29	17	26	28	32	26	29	28	24	27
在籍数	46	46	46	46	46	46	44	44	44	44	43	43	45

[4]退園者の状況

2023年3月31日現在

性別	就職	解除	変更	計
男	0	2	0	2
女	0	0	1	1
合計	0	2	1	3

[5]利用者の年齢別状況【平均46.2歳】

2023年3月31日現在

性別	20才未満	20～29	30～39	40～49	50以上	計
男	0	1	5	9	11	26
女	1	0	3	7	6	17
計	1	1	8	16	17	43
割合	2%	2%	19%	37%	40%	100%

[6]障害種別

(就労継続支援B型・就労移行・共同生活援助)

	知的	精神	身体	計
男	27	0	0	27
女	16	1	0	17
計	43	1	0	44

(相談支援)

	知的	精神	身体	障害児	難病	その他	計
男	11	10	6	25	1	0	53
女	13	10	4	15	2	2	46
計	24	20	10	40	3	2	99

※手帳を2つ持っている方の重複あり(4)

[7]地域別状況

(就労継続支援B型・就労移行・共同生活援助)

	那覇市	浦添市	南城市	西原町	南風原町	与那原町	計
男	8	3	6	4	2	4	27
女	6	2	5	1	1	2	17
計	14	5	11	5	3	6	44

(相談支援)

	与那原町	南城市	西原町	その他	計
者	28	12	10	3	53
児	21	11	10	0	42
計	49	23	20	3	95

[8]施設外就労訓練

	施設外就労	施設外就労	施設外就労	計
	那覇市与儀 ・天久公園	与那原町 与原公園	与那原町 上の森・ゆう ゆう公園	
男	3	2	2	7
女	2	2	2	6
計	5	4	4	13

[9] 苦情解決相談受付

苦情内容	件数	対応
利用者間のトラブル	5件	利用者の担当支援員に状況を説明し、当該利用者本人と個別に話し合いを持ってもらう。それぞれの利用者の言い分や気持ちを傾聴し、関係の調整が必要な場面では直接介入するなどして関係改善を図った。

[10] 年度別工賃支給状況

(単位:千円)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
生産活動収入	29,526	30,870	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194	29,733	27,925
工賃支給総額	13,079	12,344	12,342	12,545	12,609	12,122	12,420	12,746	12,833	13,404	13,447
月平均支給額	23	22	22	24	26	26	26	26	26	26	26
平均利用者数	46人	45人	45人	42人	42人	40人	39人	41人	41.9人	42.5人	42.7

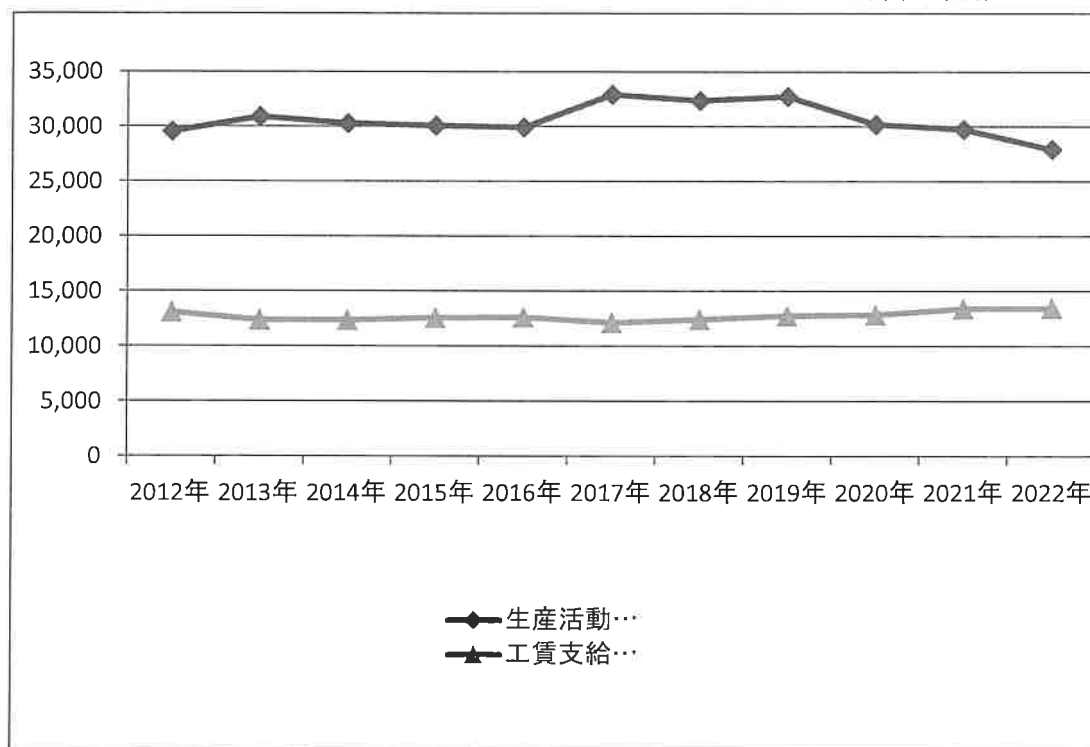
[11] 生産活動収入

(単位:千円)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
園芸・出向	7,239	6,552	6,282	5,574	4,934	7,008	5,678	6,243	6,066	6,067	4,390
公園・公園管理	4,299	4,419	3,163	3,373	3,731	4,609	5,599	3,743	2,983	2,854	2,776
収集分別 家政・売店	17,988	19,899	20,816	21,123	21,246	21,291	21,061	22,749	21,145	20,812	20,758
計	29,526	30,870	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194	29,733	27,925

※ 生産活動収入 及び 工賃支給総額グラフ

(単位:千円)



[12]受託作業契約事業

2023年3月31日現在

	受託先	作業内容	職員	利用者	開始年月日	継続	
1	日本キリスト教団沖縄教区	霊園及び花壇植栽維持管理作業 〔週3回〕	1	5	1988年10月 (S63)	34	年
2	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内の草刈・清掃 〔通年〕	1	4	1989年7月 (H1)	33	年
3	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内公衆トイレ清掃作業〔週3回〕	1	4	1991年8月 (H3)	31	年
4	琉球銀行中部支店9店舗	貸鉢プランター 〔2カ月に1度〕	1	6	1993年4月 (H5)	30	年
5	那覇市役所 (公園管理課)	与儀公園他2ヶ所 花壇花卉植栽維持管理作業〔通年〕	1	5	1993年7月 (H5)	29	年
6	与那原中央病院	病院周辺の除草・清掃作業〔週1回〕	1	4	1993年10月 (H5)	29	年
7	与那原町役場 (生活環境安全課)	町内リサイクル資源収集分別作業〔通年〕	4	19	1997年4月 (H9)	26	年
8	沖縄県	県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理 〔随意契約〕 2023. 3/1~2023. 3/31	1	5	2020年6月 (R2)	3	年

[13]下請作業

	業者名	作業内容		開始年月日	継続	
1	新垣瓦店(与那原町)	瓦コースターシール貼り、商品箱詰め		2006年 (H18)	15	年

[14]売店

	販 売 物	
1	じょいまーる(常設売店)	無農薬野菜、ドリンク類、古着、手芸品、食器等

10. 職員に関する事項

退職	職業指導員	職員3名	パート職員	1名
採用	職業指導員	職員2名	パート職員	3名

[県外研修]

	実施日	研修会名	場所	参加者	備考
	7月13日	全国知的障害者関係施設長等会議	東京都	施設長1名	

[県内研修]

	実施日	研修会名	場所	参加者	備考
1	4月22日	障害者虐待防止法について	施設内研修	職員14名	
2	5月21日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	オンライン	職員1名	
3	7月6日	食品衛生管理者講習	南部保健所	職員1名	
4	7月8日	相談支援従事者初任者研修(2日過程)	オンライン	職員1名	
5	7月12日	介護保険サービスと障害福祉サービスの相互理解と連携	西原町社協	職員1名	
6	8月3日	相談支援体制の充実・強化に向けた市町村等関係職員への基礎研修	オンライン	職員1名	
7	9月3日	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	オンライン	職員1名	
8	9月12日	福祉現場における改正個人情報保護法への対応	オンライン	職員1名	
9	9月14日	障害者の消費者被害未然防止研修	オンライン	職員1名	
10	9月14日	自殺対策相談従事者研修	オンライン	職員1名	
11	10月6日	障がい者テレワーク就労オンライン勉強・説明会	オンライン	職員2名	
12	10月26日	沖縄県社会福祉大会	宜野湾市	職員1名	
13	11月10日	南部地区障害者自立支援連絡会議 市町村における医療的ケア児の支援体制整備について	オンライン	職員2名	
14	12月16日	九州地区障がい者相談支援事業合同研修会	オンライン	職員1名	
15	12月16日	沖縄県障害児者施設連携研修会 “虐待防止・権利擁護研修”	オンライン	職員1名	
16	1月17日	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	オンライン	職員1名	
17	1月31日	障害者差別による相談員研修	オンライン	職員1名	
18	2月3日	障害者差別による相談員研修	オンライン	職員1名	
19	2月24日	南部圏域相談員従事者研修	オンライン	職員2名	
20	3月2日	安全運転管理者講習	浦添市	職員1名	
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					

○ 年間プログラム

4月	
5月	
6月	ピクニック
7月	
8月	
9月	避難訓練
10月	愛の園スポーツ大会
11月	健康診断
12月	愛の園・保護者会合同忘年会 クリスマス祝会
1月	新春ボーリング大会
2月	愛の園ミニスポーツ大会
3月	内科検診 避難訓練 激励感謝会

○ 月間プログラム

曜日	内容	担当
第1営業日	体重測定・グループホーム連絡会	利用者 サビ管・世話人
第1木曜日	聖書勉強会	利用者・職員
第2水曜日	職員会議	職員
第3金曜日	企画会議	管理者・主任
第4金曜日	支援会議	職員
奇数月第3土曜日	園内行事等	利用者・職員
奇数月第3土曜日	保護者会	管理者・保護者

○ 日課プログラム

8:30	～	出勤・着替・職員ミーティング
8:40	～	朝会
8:50	～	作業開始
12:00	～	昼食・休憩
13:00	～	午後の作業
15:00	～	休憩
15:15	～	道具の後片づけ
15:30	～	作業終了・送迎サービス(第1グループ出発)
16:00	～	退勤・送迎サービス(第2グループ出発)
17:00	～	グループホーム美さ送迎

11. 2020年度中に実施した主なプログラム

		プログラム	実習生受入・事業所見学他
4/1	(水)	・体重測定 ・辞令交付式 ・オリエンテーション ・GH連絡会	
4/3	(金)	・工賃支給日	
4/8	(水)	・職員会議 ・おしゃれクラブ	
4/15	(水)	・企画会議	
4/24	(金)	・職員会議	
5/1	(金)	・体重測定 ・GH連絡会 ・工賃支給日	
5/13	(水)	・職員会議・おしゃれクラブ	
5/29	(金)	・支援会議	
6/1	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
6/10	(水)	・支援会議	
6/12	(金)	・おしゃれクラブ	
6/14	(日)	与那原町MIXスポーツ教室	
6/17	(水)	・苦情解決委員会	
6/24	(金)	・支援会議	
6/26	(木)	出向班リフレッシュタイム	
7/1	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
7/3	(金)	・工賃支給日 ・利用者健康診断	
7/4	(土)	保護者会総会	
7/8	(水)	・職員会議	
7/10	(金)	おしゃれクラブ	
7/15	(水)	・苦情解決委員会 ・企画会議	
7/30	(木)	・出向班リフレッシュタイム	
7/31	(金)	・支援会議	
8/3	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
8/5	(水)	・避難訓練 ・工賃支給日	
8/12	(水)	・職員会議	
8/14	(金)	・おしゃれクラブ	
8/21	(金)	・企画会議	
8/28	(金)	・支援会議	
9/1	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
9/3	(水)	・聖書勉強会	
9/4	(木)	・工賃支給 ・おしゃれクラブ	
9/9	(水)	・職員会議	
9/16	(水)	・苦情解決委員会	
9/18	(金)	・企画会議	

9/25	(金)	支援会議	
10/1	(木)	・体重測定 ・GH連絡会 ・聖書勉強会	
10/5	(水)	・工賃支給日	
10/9	(金)	・おしゃれクラブ	
10/14	(水)	・職員会議	
10/16	(金)	・企画会議	
10/17	(土)	・与那原町MIXスポーツ教室	
10/21	(水)	・苦情解決委員会	
10/23	(金)	・支援会議	
10/24	(土)	・グランドゴルフ大会	
11/2	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
11/5	(木)	・工賃支給日	
11/11	(水)	・職員会議	
11/13	(金)	・おしゃれクラブ	
11/14	(土)	・与那原町MIXスポーツ教室	
11/18	(水)	・苦情解決委員会	
11/20	(金)	・企画会議	
11/21	(金)	・レクレーション大会(吉の浦公園)	
11/27	(金)	・支援会議	
12/1	(火)	・体重測定・GH連絡会	
12/4	(水)	・工賃支給日	
12/9	(水)	・職員会議	
12/11	(金)	・おしゃれクラブ	
12/18	(金)	・大掃除 ・企画会議	
12/19	(土)	・愛の園クリスマス会 & 忘年会	
12/25	(金)	・支援会議	
12/27	(日)	・与那原町MIXスポーツ教室	
12/28	(月)	・支援会議	
1/4	(月)	・仕事始め ・体重測定・ ・愛の園新年会	
1/5	(火)	・工賃支給日	
1/13	(水)	・職員会議	
1/15	(金)	・企画会議	
1/17	(日)	・与那原町MIXスポーツ教室	
1/22	(金)	・支援会議	
1/29	(金)	・おしゃれクラブ	
2/1	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
2/5	(金)	・工賃支給日	
2/10	(水)	・バレンタインクッキー作り ・職員会議	
2/12	(金)	・企画会議	

2/19	(金)	・支援会議	
3/1	(月)	・体重測定	・GH連絡会
3/5	(金)	・工賃支給日	
3/10	(水)	・職員会議	
3/12	(金)	・おしゃれクラブ	
3/12	(金)	・おしゃれクラブ	
3/17	(水)	・苦情解決委員会	
3/18	(木)	・利用者内科検診	
3/19	(金)	・支援会議	
3/21	(日)	・与那原町MIXスポーツ教室	
3/24	(水)	・避難消火訓練	
3/26	(金)	・激励感謝会	・企画会議